

平成26年度 当初予算のポイント

行田市

1 総括

平成26年度の当初予算は、昨年度に引き続き「行田市版骨太の方針」における①人口減少対策、②安心安全の確保、③魅力あるまちの創出の3つの施策に重点を置き、市税の減収など自主財源の確保が厳しい状況の続くなか、真に必要な事業に優先的に財源を配分したところである。

第5次行田市総合振興計画に定める市の将来像である「古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ」の実現を目指し、財政健全化の取り組みを継続しつつ、市民と行政との創意工夫により、活力と希望に満ちたまちづくりを進めていく。

2 予算規模

一般会計予算 258億6,000万円
 (25年度 246億8,000万円)
 (前年度当初比 4.8%増)

特別会計、公営企業会計を含めた総額は、
 466億3,603万円
 (25年度 451億3,742万円)
 (前年度当初比 3.3%増)

【国】	95兆8,823億円 (25年度 92兆6,115億円) (前年度当初比 3.5%増)
【県】	1兆7,299億円 (25年度 1兆6,757億円) (前年度当初比 3.2%増)
【地方財政計画】	83兆3,700億円 (25年度 81兆9,100億円) (前年度当初比 1.8%増)
【地方財政計画】 〔地方一般歳出〕	67兆7,500億円 (25年度 66兆4,533億円) (前年度当初比 2.0%増)

<参考> 一般会計当初予算の推移

(単位：千円、%)

年 度	17	18	19	20	21
当初予算額	(22,575,000) 21,020,000	23,080,000	23,100,000	23,830,000	22,800,000
伸 び 率	△6.1	(2.2) 9.8	0.1	3.2	△4.3
年 度	22	23	24	25	26
当初予算額	24,140,000	24,530,000	23,680,000	24,680,000	25,860,000
伸 び 率	5.9	1.6	△3.5	4.2	4.8

※ 17年度予算額、18年度伸び率の()内の数値は、旧南河原村を含んだ数値である。

3 歳 入

- (1) 市税収入は、防災対策の財源にあてるために引き上げた個人市民税均等割のほか、法人市民税、軽自動車税で増収が見込めるものの、個人市民税所得割やその他の税目の減収がこれを上回ると見込まれ、対前年度比910万円(△0.1%)の減となった。

＜参考＞ 市税の推移

(単位：千円、%)

年 度	22	23	24	25	26
当初予算額	10,276,986	10,084,754	10,045,519	10,004,593	9,995,490
伸 び 率	△ 6.1	△ 1.9	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.1
構 成 比	42.6	41.1	42.4	40.5	38.6
決 算 額	10,546,837	10,651,589	10,378,695	—	—
伸 び 率	△ 3.0	1.0	△ 2.6	—	—

- (2) 地方交付税は、地方公務員給与費の臨時特例による減額措置の終了、地方消費税の増収や合併算定替による影響などを考慮し、前年度決算見込みと地方財政計画の内容を勘案して試算した結果、前年度と同額となった。

- (3) 財源不足を補うための財政調整基金からの取り崩しは、財政状況が厳しいことから4億円(対前年度1億円増)計上した。

また、ふるさとづくり事業に充てるため、ふるさとづくり基金から3,500万円(対前年度△1,000万円)、行田エコタウン創出事業に充てるため、地球温暖化対策基金から3,400万円(対前年度100万円増)の取崩しを計上した。

- (4) 市債は、事業を厳選するとともに合併特例債をはじめとした交付税措置のある有利なものを活用することを原則としているが、小中学校特別教室のエアコン設置事業や斎場改修事業への活用などにより対前年度6億550万円(21.8%)の増、市債依存度は13.1%となった。

また、市債残高は小中学校のエアコン設置やトイレ改修、ごみ処理施設の設備改修などの重点施策や緊急性の高い事業に取り組んだ結果、特例地方債を除いても平成25年度末以降は増加に転じる見込みである。

なお、地方財政の財源不足を補うための国の財政対策である臨時財政対策債は、15億円(対前年度△1億円)を見込んでいる。

＜参 考＞ 市債(一般会計)の推移

(単位：千円、%)

年 度	22	23	24	25	26
当初予算額	2,439,700	2,712,800	2,168,600	2,775,300	3,380,800
伸 び 率	17.2	11.2	△ 20.1	28.0	21.8
依 存 度	10.1	11.1	9.1	11.3	13.1
年度末現在高	24,746,242	25,061,595	24,804,927	26,241,333	27,367,410
伸 び 率	1.5	1.3	△ 1.0	5.8	4.3
特例地方債を除いた残高	12,268,033	11,734,072	11,012,647	11,721,029	12,268,931
伸 び 率	△ 7.3	△ 4.4	△ 6.1	6.4	4.7

※ 26年度の地方財政計画における地方債依存度 12.7%

※ 25年度末、26年度末における市債残高については見込み数値。

(1) 「行田市版骨太の方針」重点施策

① 人口減少対策

《定住化の促進》

- 子育て世帯の定住化促進奨励金 28,000千円
 - ・ 転入者住宅取得奨励金：上限40万円
 - ・ 市内事業者施工奨励金：上限20万円
- 企業立地促進事業 101,646千円
 - ・ 企業誘致PR
 - ・ 企業誘致奨励金：施設設置奨励金、雇用促進奨励金、用地取得奨励金、従業員転入奨励金、太陽光発電設備設置奨励金、上水道加入金奨励金 ほか
- ☆ エコノミックガーデニング推進事業 2,100千円
 - 地元中小企業が活躍できるビジネス環境を創出し、企業成長による地域経済活性化を図るもの
 - ・ 関係機関による協議会の立ち上げ
 - ・ 企業情報交流サイトの構築

《交流人口の拡大》

- ☆ 魅力発信事業 【65】 2,447千円
 - 新たな情報発信手段としてAR技術を活用し、行田市の魅力を全国に発信
- 行田CMコンテスト 【65】 1,479千円
- ふるさとづくり事業（ふるさとづくり基金活用事業） 45,187千円
 - ・ 足袋蔵等歴史的建築物改修・活用事業への補助金
 - ・ 行田らしさを感じさせる建物改修、塀や看板の設置・改修への補助金
 - ・ 観光客向け回遊施設、休憩・授乳施設等の整備に対する補助金
- 田んぼアート米づくり体験事業 【65】 8,300千円
- ☆ 古代をテーマにしたまちづくり事業 1,609千円
 - ・ 行田まるかじり歴史体験ツアー
 - ・ 古代米レシピの開発
 - ・ 古代をテーマにしたまちづくりシンポジウム
- 観光客誘致推進事業 51,938千円
 - ・ 忍城おもてなし甲冑隊
 - ・ 駅からハイキング
 - ☆ ポタリング拠点整備（設計）
 - ☆ ポタリングサイクルサポーター ほか
- ☆ 駅前の顔づくり事業 6,200千円
 - JR行田駅前広場周辺、秩父鉄道行田市駅周辺の整備計画策定
- ☆ （仮称）石田堤公園整備事業 5,536千円
 - 隣接地の乱開発を防ぐとともに、堤の範囲を明確化して保全し、周辺環境の整備を図るもの
- 全国藩校サミット開催事業（H26年7月開催） 3,000千円

《子育て環境の充実》

- きっずプラザあおい運営事業 10,827千円
 - H25年度に整備した公園併設型子育て支援施設をH26年4月に開設
- ☆ 幼稚園預かり保育支援事業 16,320千円
- 子ども・子育て事業計画策定事業 5,582千円
- 病児・病後児保育事業 13,500千円
- 子ども医療支給費 252,000千円
 - 入院・通院とも中学校卒業まで無料化（H23年4月～）
- 学童保育室送迎支援事業 3,840千円
- 子ども3ワクチン接種助成（肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がん） 66,515千円

② 安心安全の確保

《地域づくりの推進》

- 安心生活創造事業 4,277千円
高齢者等を対象に見守りや買い物支援等を行う地域における支え合いの体制づくり
- いきいき・元気サポーター養成事業 479千円
地域における高齢者等の支援体制づくりとして有償ボランティアの養成を行うもの
- 安心・安全情報キット、安心・安全カード配布事業 174千円
- 超低床ノンステップバス導入促進事業 1,177千円

《適切なインフラの整備》

- 橋りょう長寿命化事業 33,000千円
H23年度策定の計画に基づく調査測量設計（修繕1、架替1）、及び工事（修繕2）
- 通学路安全対策事業 5,000千円
- 出水対策異常通報装置設置事業 3,500千円
- [下水道特別会計] 緑町ポンプ場長寿命化計画策定 7,200千円
- ☆ [下水道特別会計] 管路長寿命化計画策定 8,800千円

《防災体制の強化》

- 防災行政無線更新事業 154,830千円
H25～H27年度の継続費（事業総額398,771千円）
- 緊急防災体制整備事業 14,848千円
☆避難所備蓄倉庫整備 ・ 避難所発電機の更新
- 自主防災組織設立補助金 1,500千円
- 木造住宅耐震改修等補助事業 1,000千円
・ 耐震診断補助：上限5万円 ・ 耐震改修補助：上限20万円
- 公共施設耐震化関連事業 294,071千円
・ コミュニティセンターみずしろ耐震補強及び改修工事
・ 保健センター耐震補強及び改修工事
・ 消防南分署管理棟及び車庫棟耐震補強工事
・ 公民館耐震補強及び外部改修工事（太井、南河原）
・ 斎場耐震補強及び改修設計委託（待合棟、火葬棟）
☆天井非構造部材耐震調査（小中学校、産業文化会館、教育文化センター、総合体育館）

③ 魅力あるまちの創出

《健康づくりの推進》

- 健康長寿体操普及啓発事業 1,001千円
「ながちか体操」サポーター養成及び普及啓発事業
- 市民けんこう大学開催事業 632千円
- 健康づくりチャレンジポイント事業 572千円
健康づくりに関する事業への参加に対してポイント制度を設け、活動への参加を促す
- 禁煙チャレンジ応援プラン助成金 500千円
- ☆ 健康づくりアドバイザー設置事業 180千円
- ☆ ヘルスアップ企業認定事業 174千円
- ☆ 行田市・上野村健康づくり事業 【65】 300千円
H24年度に健康づくり協定を結んだ上野村と健康づくりをテーマとしたフォーラムを開催

《行田エコタウンの創出》

- 住宅用太陽光発電システム設置補助金（8万円×250基） 20,000千円
- 住宅用高効率給湯器設置補助金 1,700千円
 - ・ガスエンジン給湯器（2万円×10台）
 - ・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（5万円×30台）
- 電気自動車等導入補助金（10万円×15台） 1,500千円
- 環境フェスタ開催事業 500千円
- 防犯灯設置費補助金（LED化） 52,942千円
 - ・LED防犯灯への切替補助
 - ・防犯灯新設補助（原則LED）

《特色ある教育の推進》

- いじめ対策事業 2,356千円
・学校集団アセスメント ・学校ネットパトロール ・いじめホットライン ほか
- 小学校英語教育推進事業 34,508千円
・英語指導助手（小学校分） ・英語指導ボランティア ・英語活動検証委員会
- 少人数学級編制事業 134,605千円
市費負担教職員の加配により、小学校1～3年、中学校全学年で少人数学級を編制
- ☆ 小中学校特別教室エアコン設置事業 782,374千円
H25年度実施の普通教室に続き、全小中学校の特別教室にエアコンを設置
- 小中学校トイレ改修事業 5,996千円
H26年度は小学校4校分の設計業務
- ブックスタート及びセカンドブック事業 2,203千円
- 忍藩子ども塾事業 858千円

(2) その他の主な事業

☆ 市制施行65周年記念事業実行委員会交付金事業 【65】	5,300千円	
・ NHK公開番組の収録	・ 市民提案型記念事業	ほか
○ 循環バス運行事業	73,594千円	
・ 全6路線の運行事業費	☆乗降人数調査費	ほか
☆ 生活路線バス運行事業補助金	16,505千円	
行田吹上線の運行維持のため、運行経費の一部を補助するもの		
☆ まちづくり元気創出事業	1,000千円	
自治会が新たな公共の担い手となるための足がかりをつくるもの		
○ 市税等電話催告業務委託事業	8,608千円	
○ 原付バイクご当地ナンバープレート作成事業 【65】	127千円	
☆ 1日がんドック事業 【65】	2,000千円	
☆ 発達障害巡回相談事業	686千円	
☆ 斎場式場棟新築工事	685,000千円	
○ 起業家支援助成事業	15,200千円	
☆ プレミアム商品券発行助成 【65】	5,000千円	
○ きらきらサポーター配置事業	36,562千円	
小中学校の特別支援学級等で児童・生徒の学校生活の補助を行うサポーターの配置		
☆ みらい文化講演会 【65】	1,000千円	